

フェスタ実行委員と劇人とのリモート会議

日時：令和4年(2022年)5月11日 19:00～20:30

<くすのきさんから、今回のミーティング開催の経緯、本日の予定について>

いいだ人形劇フェスタになってから20年余、劇人と実行委員会とが顔を合わせる機会がない、一昨年は中止、昨年は県内開催となっていることもあり、実行委員会と劇人とで顔を合わせる機会をとということで、昨年11月に第一回目の会議をした。今回、さらに広い範囲での会議実施をということで参加を募った。今回は以下の内容で行いたい。

①前回会議のあらまし ②今年のフェスタについて ③質疑応答

<①実行委員会から前回の会議のあらまし> 【別紙1】リモート会議2021を参照

原田実行委員長：2020年は中止、2021年は県内縮小開催ということで、県外の劇人の方々にはご迷惑、ご心配をおかけして申し訳なかった。現在の飯田の感染状況はよくないが(感染レベル5)、今年こそ全国の劇団・観劇者が参加できるように、準備を進めている。

北原副実行委員長：②今年のフェスタ開催に関して以下の条件が決定している

感染レベル5 → 中止

感染レベル4 → **観客を飯田下伊那限定で開催** (劇人の制限はなし)

感染レベル3 → フル開催

フェスタ期間中に県知事選挙が予定されていて職員の動員数が厳しいため、100会場が限界と思われる。昨年のフェスタについては、フルで開催したい実行委員と、中止を希望する地区(公民館長)との温度差があり、エリア限定の小さなフェスタにすることで調整せざるを得なかった。今年は方向性をあらかじめ決めてあるので、そこでもめることはないと思われるが、公民館の組織が4月に立ち上がり、うまく機能するかどうかは不透明。

原田実行委員長：昨年度は通常の2倍の会議を行った。また、一度提出した事業計画について感染対策が不十分ということで、臨時会議を開いて地区の承認を取り、ようやく事業計画が通った経緯もあった。今年に入って飯田では県内でも感染者が多い方だが、重症化しにくいことから、住民の受け止めもやや緩やかになってきたが、まだ不安はぬぐえない。ただ、そのような中でも地区の声として「やはりプロ・全国の劇団を観たい」という声があったので、全国劇団の参加を待ち望んでいる声もある。

くすのきさん：そのほか、長期的な課題として、ボランティアスタッフ減少の話も出た。

<全人協を代表してむすび座吉田さんより劇人の現状について> 【別紙2】むすび座吉田氏原稿を参照

コロナ感染が始まってからの劇団への打撃は損失件数、損失額共に大きく、オミクロン株の流行による学校公演のキャンセルでさらに厳しい状況になっている。結果として若いアーティストや劇団員が人形劇の世界を離れ、担い手不足が心配。また舞台芸術に触れないで育った子どもたちの成長にも影響はおよび、その子たちが大人になったときに文化芸術の危機が訪れる可能性がある。フェスタは、年に1度、全国からプロアマ問わず劇人が集まる歴史ある特別なお祭り。そこで影響を受けて劇人になった人も多く、毎年それを楽しみに活動をしている愛すべき存在。今後もより良いものとして続いてほしいと願う。

<今年のフェスタについて聞きたいこと(チャットへの書き込み) ③質疑応答>

①開催の判断時期 ②飯田でのクラブ活動はどうなっているか ③海外劇団は？

【回答】原田委員長： ④まずは、有料公演チケット販売の前、6月下旬で1回、フェスタの2週間前の

7月下旬で最終判断する。その後も変化(状況悪化)があれば、都度判断。

◎海外については今年は呼ばない。(昨年地域限定だったので、まずは日本全国から。地域住民の感情を考慮して、段階的に通常開催まで広げていきたいと思っている)

くすのきさん:長野県の方針として、レベルの見直し(緩和)は一度されたが、それでも他県よりは厳しい。今後も見直しの可能性はある。行政の見直しがされればまた、希望は広がると考えている。

公民館主事青山:⑧について部活動は比較的行われている。人形劇クラブの活動もやっていると思われる。劇団が直接来る指導は行っていないのでは?

むすび座/吉田さん:実際に指導に行ったり、ZOOMを使うなど、学校への何らかの指導は続いている。

くすのきさん:熊田先生から書き込みで、学生劇団が少なくなり、人形劇をやる学生も減ってきている。短大なので、上級生が卒業した時点で団員ゼロということもあったとのこと。

紙芝居劇団どろんこ:はじめて参加する予定なので、雰囲気を知りたくて参加した。

くすのきさん:フェスタの4日間は聖なる時間と空間という感覚。メッカ詣でのような。人口10万の都市にのべ2万人が訪れる。こんなフェスタはほかにない。ぜひ楽しんでほしい。

学生飯塚さん:飯田経験のある先輩が去年卒業していなくなってしまった。今年も参加できそうもないので、まったくわからなくなってしまった。これからは繋がりは持っていたいと思い参加した。

くすのきさん:4年制大学でも、今年参加できないとそんなことになってしまう。今年は開催してほしい。

グレゴさん:この文章が録音されていますと出てきたが…後で、参加していない人が視聴可能か?

くすのきさん:後で文章でまとめるので見ていただきたい。事務局の方、出てきてください。

事務局/山崎(飯田文化会館/人形劇のまちづくり係長):はじめまして。2年半前に事務局に來たが、不慣れなままコロナ禍になってしまった。皆様には2年間ご迷惑をおかけしました。3年目ということで開催に向けて準備をしているので、よろしくお願いします。

事務局/田中(飯田文化会館/人形劇のまちづくり係):お世話になっております。今、プログラムを作っている。日程等早くお伝えできるように頑張りたい。よろしくお願いします。

くすのきさん:全国的に運営が厳しくなっているフェスの現状にあって、飯田のフェスタは日本全国の「文化のアイコン」になっている。それを飯田の人たちに実感してほしい。

舞台アート工房・劇列車/釜堀さん:今年の飯田への参加をどうしようか、検討していて会議に参加した。九州から行くのは一大決心。毎年行ってみたいと思いながら案内を見ていた。フェスタと関係あるかわからないが、「Dogushi」で見た“ほっこり”に興味がある。今も活動しているのか。

原田実行委員長:「ほっこり」はいい大人形劇センターというNPO法人で企画している。facebookやTwitterなどでも発信をしているので、ぜひ見てほしい。

つきほたる/浅野さん:飯田には長く参加している。むすび座吉田さんの話を聞いて、本当につらかったろうと思った。自分は幸いアルバイトをしていたので、何とかやっていけたが、そちらにも影響が出た。この頃感じたことだが、知り合いの人形劇を見に行ったら、コロナ禍になって学校で本の読み聞かせなどを行わなくなった結果、子どもの集中力が落ちていると実感した。10分ともたない。

ましゅ&Kei/Keiさん:飯田のフェスタが縁で飯田に移住してしまった。飯田にいたので、地区の人、実行委員の人、見に来る人、アマの人と話をしてきたので、いろんな思いがごちゃ混ぜになって一言では言えない。この2年間、みんなフェスタが大好きなのに、フェスタを取り巻く人々の間で情報が共有されていないために、悲しい気持ちになる人が多かったのではないか。(地区公演と本部公演の違いなど)もっ

と、情報共有するためにコミュニケーションをとれるといいなと思った。

シニア大学人形劇団「ふたご座」/森山さん：飯田在住で 73 歳。アマチュアでくすのきさんにもご指導いただいている。フェスタ参加は 3 回だが、長くカーニバルのころから見ているので、世界、日本全国からプロアマの劇団が来ていただくことを期待している。

そらのゆめ/谷口さん：名古屋市の劇団。普段は舞台劇だが、人形も使いながらということで、飯田にも参加している。自分は 4 年目で、1 回しか参加できていない。(地区公演)スケジュール的に忙しくて全体の雰囲気を見れなかったのが、今年はぜひ時間を作っていろいろ経験したい。

くすのきさん：飯田の場合は人形劇でなくてもそれっぽいものでも参加できるので、貴重なフェス。

ひとみ座/田川さん：多分今年もフェスタには行けないが、本当に大好きなので、今年も頑張っしてほしい。ご活躍を期待する。

後藤さん：カーニバルの話聞いていて、飯田に行くのを目標にしていたので、行けてうれしかった。しばらくお休みになっているので、ぜひまた参加したい。

くすのきさん：チャットに書き込み。フェスタが開催されたりんごんもやるのか。

原田実行委員長：今のところ開催予定だと思う。昨年はりんご並木の周りで無観客で行った。やるとすれば 8/6 土曜夜と思われる。別団体のため詳しくわからず申し訳ない。

くすのきさん：劇団クラルテさんの書き込みで、「フェスタを支えるボランティアが不足しているという話を聞いてショックだった。劇団が役に立てることはないのか。」今日は時間がないので、次回、何かできることがあるのか、こんなことをしてもらったら助かるとか、話ができればと思う。人形劇の人はただお客さんで行くつもりはないと思うので、何かできることあればしますよというシフトで行っている方が多い。その辺は一緒にやれたらいいと思う。

京芸/山本さんの書き込みで、「実行委員会のご苦労を改めて感じている。今年は去年よりほんの少しでも広がったフェスタになるよう祈っている。今年新人が 2 名も入った。その 2 人を連れて飯田に行けるように。」

フェスタがフルバージョンで開かれなかったという中で、飯田と劇人が顔を合わせる機会が作れたというだけでも良かったと思っている。年に 1 回か 2 回はこのような機会を設けたい。

北原副実行委員長：まだ計画中だが、スタッフ不足を補うために、全国からやりたい人に来てもらうため、交通費とか宿泊費を補助する予算を確保している。細かい点について決まったらまたお知らせする。基本的に劇人のみなさんには上演参加で来てもらいたいが、回りにスタッフで行ってもいいという人がいれば参加していただけると嬉しい。

原田実行委員長：今日はありがとうございました。実行委員会のメンバーの参加が少なかったのは申し訳ない。これからもこういう機会を設けたい。また、今年会場に関して大きな変更がある。市公民館が閉館になり、飯田駅前の商業施設旧ピアゴを改装した複合施設に入る。ホールはなく、会議室等があるのみ。ご不便をおかけするかもしれないが、ご理解をお願いしたい。

くすのきさん：全員にご発言いただけて申し訳なかったが、こういう機会を又設けるので、ぜひまた参加いただきたい。ありがとうございました。

【長野県の新型コロナ感染警戒レベル状況（令和 4 年 5 月 25 日時点）】

○令和 4 年 5 月 25 日に、長野県の感染警戒レベルの基準の見直しが行われ、5 月 25 日時点で、一部を

除く長野県全体が感染警戒レベル「3」となりました。現在の状態であれば、いいだ人形劇フェスタの開催が可能な状況となっています。

- 今後の感染警戒レベルは、新規感染者数の基準の緩和されることにより、人口10万人当たり120人以上で「4」となります（5/26時点で飯田下伊那地域は108人）。ただし病床使用率が逼迫してきた場合、新規感染者数に限らず感染警戒レベルが上がります。（詳しくは、長野県のHPをご覧ください）